

～安心で、持続可能な社会の実現を目指して～

千代田線北綾瀬駅の太陽光発電システムを増設します

ホームドア・エレベーター等の駅設備の電力に活用

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）は、2021年5月16日（日）から千代田線北綾瀬駅において太陽光発電システムを増設し、発電能力を増強します。

東京メトロは2021年3月より、長期環境目標「メトロCO₂ゼロ チャレンジ 2050」を設定し、東京メトログループ全事業が排出するCO₂量「2030年度-30%（2013年度比）、2050年度実質ゼロ」を目指しています（2030年度の削減目標については、上方修正の検討を進めてまいります）。

その取組みの一つとして再生可能エネルギーの活用を推進しており、北綾瀬駅を含めた11箇所の地上駅ホームでは屋根上で太陽光発電システムを稼働し、ホームドアやエレベーター等の駅設備の電力として活用しています。

千代田線北綾瀬駅では、ホームの延伸工事に伴い太陽光発電システムの稼働を停止していましたが、この度太陽光パネルを延伸箇所に増設し再稼働します。再稼働後は太陽光パネルの最大出力が増強され32kWとなり、CO₂排出量削減効果は年間約13.6tを想定しています。これにより、合計11駅での太陽光発電システムによるCO₂排出量削減効果は、年間約584.8tとなる見込みです。

今後も東京メトログループでは、事業のあらゆる場面での先端技術の採用や改善活動等の創意工夫により、再生可能エネルギーの活用や更なる省エネ化を強く推進し、役員・社員が一丸となりCO₂の削減に積極的に取組み、「安心で、持続可能な社会」の実現を目指してまいります。

詳細は別紙のとおりです。



千代田線北綾瀬駅 太陽光発電システム

「千代田線北綾瀬駅 太陽光発電システム」について

1. 稼働スケジュール

2021年5月16日（日）稼働開始

2. 設置場所

千代田線北綾瀬駅ホーム屋根上

3. 発電能力

- ・最大出力：32kW
- ・想定CO₂排出量削減効果：13.6t/年

4. これまでの太陽光発電システムの導入事例

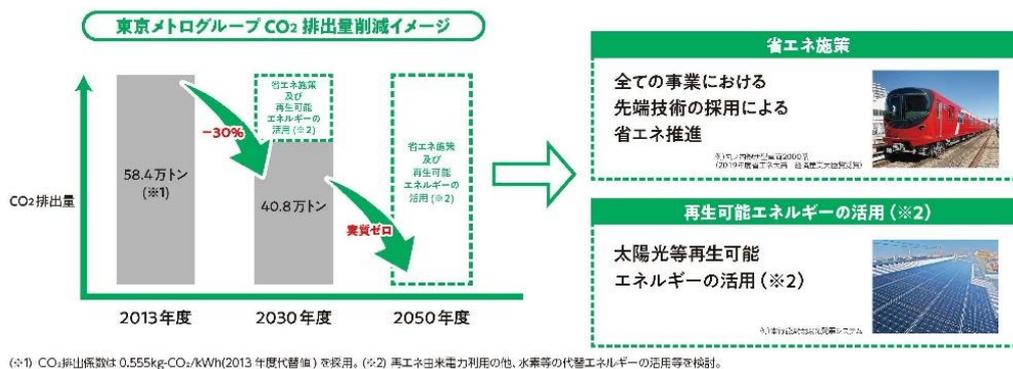
- ・設置駅（11駅）

駅名	稼働開始時期	発電能力
千代田線 北綾瀬駅	2008年9月（既設：20kW） 2021年5月（増設：12kW）	32kW
東西線 南行徳駅	2012年3月	132kW
東西線 妙典駅	2012年9月	253kW
東西線 浦安駅	2013年3月	98kW
東西線 西葛西駅	2013年8月	99kW
東西線 葛西駅	2013年8月	93kW
東西線 原木中山駅	2013年8月	150kW
東西線 行徳駅	2014年3月	108kW
日比谷線 南千住駅	2015年2月	80kW
東西線 西船橋駅	2015年3月	166kW
丸ノ内線 四ツ谷駅	2021年3月	164kW

- ・合計最大出力：1,375kW
- ・合計想定CO₂排出量削減効果：584.8t/年

（参考）長期環境目標「メトロCO₂ゼロ チャレンジ 2050」

東京メトログループ全ての事業における先端技術の採用や改善活動等の創意工夫により、再生可能エネルギーの活用や更なる事業の省エネ化を通じ、東京メトログループ全事業が排出するCO₂量について「2030年度-30%（2013年度比）、2050年度実質ゼロ」を目指します（2030年度の削減目標については、上方修正の検討を進めてまいります）。



東京メトログループのSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について

東京メトログループは、サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の特定に合わせて、SDGsに掲げられている17の目標、169のターゲットとの関連性を整理しました。

引き続きマテリアリティに係る各種施策を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

なお、本リリースの取組みは、主にSDGsにおける目標7番「エネルギーみんなにそしてクリーンに」及び13番「気候変動に具体的な対策を」に貢献するものと考えています。

東京メトログループのサステナビリティ重要課題とテーマ

<https://www.tokyo-metro.jp/corporate/csr/materiality.html>

